



しんじゅ

No. 37

2025年8月15日

発行所：社会福祉法人 しんじゅ

発行人：猪坂 一彦

本部事務所
ホーリーツリー東部
たおし分室
ホーリーツリー西部
ホーリー離宮
ホーリーハウス
ステーションしんじゅ
福祉の店「いたやど」
ホーリー須磨
ホーリーピンゴ

739-5350 〒654-0054 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
821-1586 〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
987-2532 〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689
739-5360 〒654-0054 神戸市須磨区離宮前町1-1-6
754-6760 〒654-0065 神戸市須磨区離宮前町1-1-29
739-5390 〒654-0054 神戸市須磨区離宮前町1-1-6
731-3340 〒654-0065 神戸市須磨区離宮前町1-1-29
733-2477 〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12
739-5359 〒654-0054 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
846-1812 〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

* ホームページ <http://www.shinjiyu.or.jp>

社会福祉法人しんじゅ 理念

1. 愛情をもってふれあい、共生の中で人間性豊かな人生を築こう
2. 安全で、安心して生活できる場を実現しよう
3. 自由で尊厳ある人生を全うしよう



ホーリー離宮制作のカレンダー



ホーリーツリー西部制作のカレンダー



ホーリー離宮制作の「花火」(掲示版)

過日、西部での創作活動を見学しました。ある利用者が真っ黒な千代紙にきれいなシー

私の部屋にはホーリーツリー離宮の一人ひとりが月を分担して作ったカレンダーが、日と曜日を教えてく

れます。毎日に捲ればあくる月。作者が変わり画風も変わり、そのたびに気持ちが和みます。

ホーリーツリー東部は大作の「神戸浪裏」を制作し、アートポムめのはこ(6月・原田の森ギヤラリー)に出展しました。「浪裏」の彼方にはポートタワーがそそり立っています。その隣は富士山ならぬ六甲山。まことに気宇壮大。

ホーリーツリー離宮は玄関横の道路沿いに掲示板を設けています。月ごとにテーマを決め、みんなで作った作品を掲示しています。4月は「桜」・5月は「鯉のぼり」・6月は「紫陽花」・7月は「花火」。

道行く人が歩を緩めて作品を眺めています。作った甲斐がありました。

しんじゅの生活介護の事業所では、レクリエーションに趣向を凝らしています。とりわけ創作活動は重要な科目です。改めて紹介いたします。

しんじゅの創作活動と「達成感」

理事長 猪坂 一彦

ルを貼り、上部の空間に何色かの色鉛筆で塗りつぶしの作業中でした。私の「それなに？」に、作業を見守っていた職員から「なまな質問ですね」と柔らかくたしなめられました。その利用者は、私の不用意な質問に、その塗りつぶしが「花火」であることを隠々として説明してくれました。作品を制作するひた向きさに感心し、完成後の達成感はいかばかりかと想像した次第です。でき上った作品に向き合う利用者の笑顔は、達成感の証しです。

作品の構想から素材選び、制作に要する時間など、利用者との濃密な協同作業は、職員や講師の大きな喜びでもあり、ながい時間かけた後のみんなの達成感は一入でしょう。達成感とは明日への活力です。

ホーリーツリーの側の国道2号線沿いの歩道脇に大きな掲示板があります。ここにも協同作業で制作した作品を掲示しています。本号の発行時期にはどんな作品がかかっているかが楽しみです。

作品の構想から素材選び、制作に要する時間など、利用者との濃密な協同作業は、職員や講師の大きな喜びでもあり、ながい時間かけた後のみんなの達成感は一入でしょう。達成感とは明日への活力です。

事業所紹介 相談支援事業所「ホーリー須磨」

(計画相談支援・障害児相談支援)

ホーリーツリー3階(TEL: 078-739-5359)

副施設長兼管理者 久保 成起

相談支援事業所を利用している方は神戸市ではまだまだ少なく、セルフプランでご本人やご家族の方が計画を立てている方が多数おられます。近隣の都市ではセルフプランを廃止して、サービスを利用する方は相談支援専門員がキーパーソンとなりご本人、ご家族とともに計画相談支援を行っています。介護保険制度ではサービスを利用する方すべてに介護支援専門員(ケアマネジャー)がついていますが、障害者の分野は相談支援専門員が不足しているのが現状です。

私自身は、主にステーションしんじゅ、ホーリーハウスの担当をしていました。昨年の2月に相談支援専門員の更新のため現任研修を受講致しました。その研修の中で相談支援の現場で活躍している方々と話をする機会に恵まれ現場の苦労、やりがいなど聞くことが出来て自分自身もリフレッシュすることが出来ました。

そうした中で7月よりホーリー須磨で計画相談に携わることになりました。相談支援の仕事は今までの現場と違い利用者さんを直接支援する機会は減りますが、

一人の利用者さんに必要なサービスをコーディネートする役割があり、その方の人生を応援する応援団のような役目もあります。

まだまだ勉強中ですがこれからも一人一人の利用者さんの困っていること、助けて欲しいことなど把握していきながらその方の人生がより良いものになっていくよう側面からサポートしていきたいと思っています。

しんじゅバザーへの寄贈品のお願い

社会福祉法人しんじゅ「福祉バザー」の年々開催は、福祉の店いたやどの令和5年8月16日を最後に終了いたしました。皆様から頂戴した寄贈品は、引き続き同店舗で販売しています。ぜひ寄贈品をお寄せ下さい。ご一報いただければ載きにまいります。お引取りは各施設の管理者にご連絡いただければ幸いです。



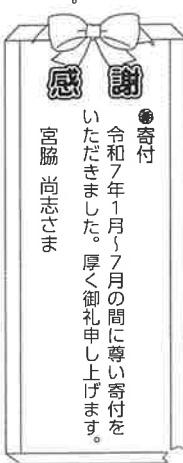
ホーリーツリー東部制作の大作「神戸浪裏」

新評議員のご紹介

令和7年6月24日の定時評議員会において、新役員・評議員が選任されました。新任の評議員の加藤和彦さまをご紹介します。

評議員 加藤 和彦

この度、社会福祉法人しんじゅの評議員に就任しました加藤和彦と申します。私は神戸市役所に65歳まで勤務し、その後市内の社会福祉法人で法人運営の仕事をしておりました。現在同じ須磨区にありますが母子生活支援施設離宮ハイツで施設長をしております。しんじゅさんとのご縁は、神戸市役所に勤務していた時に猪坂理事長と知り合ったことに始まります。以来十数年、折に触れお話しする間柄となりました。障害分野は制度が大変複雑になっており、お役に立てるのが悩みました。猪坂理事長の頼みとあっては断れず、お引き受けすることになった次第です。評議員は法人の中で理事会へのけん制機能を持つとされています。ことに毎年の事業計画、会計計算書類等の承認は法人運営にとって重要な部分です。社会福祉法人は法律で細かく定められており、大変に複雑な上、場合によっては行政からの指導指示を受けてしまいます。これまでの職員の方皆さんや法人役員の皆さんが築いてきた伝統と信頼を傷つけないよう、できればさらに発展させることができよう微力ながらお手伝いできればと思います。



令和7年1月〜7月の間に尊い寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。宮脇 尚志さま

無事故無違反で表彰

利用者送迎の安全を祈念すると共に、運転者のモチベーションの更なる向上を期して、兵庫県警主催の「チャレンジ100(無事故無違反運動 対象期間: 令和6年10月1日~令和7年1月8日)」に4拠点単位で参加し、全チーム無事故・無違反を達成。令和7年4月7日に須磨警察署交通課長以下3名、当法人本部に来場され表彰状を授与されました。ホーリーツリー東部は4年連続表彰。



ホーリーツリー東部

平川 はるな

【新しい試みで興味と自信を。】

様々な障がいの方が制作した作品が並ぶ『アートラボゆめのはこ』が今年も開催されました。前回は缶バッジイラスト展に多数出展したので、今回はそれ以外にも挑戦してみないかという話になり、大型作品一つ作り上げることが決まりました。

完成イメージを先に作り上げ、それを元に各曜日で少しずつ進めていくという形式で取り組みました。利用者様それぞれが得意なことだけでなく苦手なことでも挑戦できるように、色塗り・貼り付け・紙をちぎるといった選択肢と様々なアイテムを用意し、その日の気分や体調で選んで取り組んでいきました。

同じ施設に在籍してはいるが、顔を合わせたことがない仲間とも協力して作品を作り上げる不思議な感覚と一体感。完成イメージに近づいていくワクワク感。数ヶ月かけて締め切りまでに完成を目指す緊張感。作品制作はしたことがあっても、今までとは少し違う体験ができたのではないかと思います。

誰もが一度は何かしらで目にすることがあるであろう葛飾北斎の神奈川沖浪裏を元に作成した『神戸浪裏』は、ただのオマージュ作品ではなく、ホーリーツリー東部らしいポップで楽しそうな雰囲気のある作品に仕上がりました。何かをやり遂げる達成感に満たされ、前向きに次の挑戦を探していただきかけになれば幸いです。



大作「神戸浪裏」制作風景

ホーリーツリー東部 たおじ分室

篠原 英剛

<行事履歴>

1月、地域の十日戎に参拝。福引きでたおじ分室から2名も1等が出て、今年はいよいよ1年になります。

2月、スキー、スケート、カーリング...冬季オリンピック種目のアレンジ版をたおじ分室で開催！

3月は梅の名所と地域のひな祭り巡り。

4月は桜とスタンプ（さんだ春のスタンプラリーに挑戦）を求めてぶらり旅。

5月になり、たおじ分室に新しい職員（福山洋子さん）が加わり、六甲山でみんなで食べたソフトクリームは格別でした。

6月、体験型ミュージアム「カワサキワールド」「ダスキンミュージアム」を見学。

Enjoy があふれるたおじ分室です。



ホーリー離宮

石田 卓也

離宮では創作活動の一環として施設の外の掲示板に4月なら桜・7月なら花火などの月にちなみだものを利用者みんなで作成し毎月替わりで掲示しています。

手先を使った細かな作業もあり苦戦の連続ですがみんなで集中して作成しています。

出来上がりの作品を見て利用者各々が感想を笑顔で語り合いながら掲示します。

これからも色々なアイデアをみんなで出しながらかつていていきたいと思います。



ホーリー離宮制作の「桜」

東郷賢治さま（写真右）は、ホーリー離宮（前身の「ホーリーツリー垂水」を含む）の創作活動をご指導いただいています。養護学校長を歴任され、当法人での創作活動の指導などを含め、永年の障害者の教育活動の功労を称えられ昨秋、【瑞宝雙光章】を受賞されました。



ホーリー離宮の掲示板「花火」制作風景

職員紹介

石田 卓也
(令和7年1月6日入職)

1月6日より勤務させて頂いております、石田卓也です。

私が離宮で働くことになりましたのは福祉の学校の紹介からでした。施設の見学を学校を通してさせて頂き落ち着いた感じの和やかな雰囲気を感じたので応募させて頂きました。緊張して働き始めてから6か月が経ちました。初めは一人ひとりのお手伝いのやり方に戸惑いがありましたが、利用者さんにやり方を教えていただき少しは出来るようになってきたと思います。これからいろいろな経験を利用者の方々と一緒に共有しながら、共に安全で楽しく日々を過ごしていただければと思います。

編集後記

今号は、創作活動についてお知らせいたします。力作を多くとらえていただけたこと、コメントを無視してカラー印刷してしまいました。編集作業中に、コロナ再流行の兆し、漸くあの悪夢から覚めたと思いましたが、ウィルスは執拗に私たちの周りを浮遊しているのです。注意喚起の警報と受け止めなければなりません。編集員一同

ホーリーツリー西部

岡本 豪

【カレーに自家製じゃがいも】

園芸療法にて3月に種芋を植えました。毎年恒例の行事で、みんな手慣れた手つきです。みんなて日々、大きな芋と水やりをすることひと月、ある程度おきくなった茎を間引きするため持ち上げた土壌はずっしり重く良い手ごたえでした。

去年は虫害でやられたのをネットで防御！今年もすくすくと大きく葉が育ちました。

6月に入り待ちに待った収穫。ワクワクしながらみんなで土嚢袋をひっくり返すとゴロゴロと大きなジャガイモがいっぱい。

合計4キロの収穫、1人200g持ち帰ってもまだまだいっぱい、最後はカレーライスになって皆の胃に運りました。



土嚢の中でじゃがいもは育ちます



収穫



中をネットで防護

水やり

ステーションしんじゅ

職員紹介

弘中 萌
(令和7年4月異動)

ホーリーツリー西部からステーションしんじゅへ異動となり早3ヶ月が経ちました。久しぶりに会う方たちが「どうですか？新しい場所は。慣れましたか？」などよく声をかけてくださいます。その度に「はい、ぼちぼち頑張ってます」と台本通りの返しをしてしまうのですが、長年いたホーリーツリー西部を離れて感じるの、とにかく利用者さん達が明るく元気で活気があること！その雰囲気に着かれるように、毎朝西部の皆さんに挨拶をしてからホーリーハウスへと向かいます。そちらでは1日の始まりを穏やかな気持ちでスタートされている利用者さん達が、優しい笑顔で迎えてくださいます。

それぞれのフロアで職員と利用者さんみんなで創り上げた空気感に触れることも私にとって良い刺激になっています。

ステーションしんじゅでは、新たに覚える業務が沢山あり、メモを片手に四苦八苦していますが、早く独り立ちできるよう精進の毎日です。

ホーリーハウス

黒河 希世

【みんなで外食】

3月20日、利用者さん10人揃って「魚魚」で外食しました。店内は広く、テーブルがコの字型になっているので、全員の顔が見えます。

利用者さんが、始めの挨拶と乾杯の音頭をとって下さり、ワイワイ賑やかな食事が始まりました。ぶり定食、刺身盛り合わせ定食、大海老天ぶら定食などが運ばれてきて、「大きな海老やね」「刺身も美味しそう」など、笑顔と、ゆっくりにした時間が流れ、外に目を向けると、海もきれいでした。職員や世話人の協力もあり、とても楽しい時間になりました。また、皆さん揃って出かけて、沢山の笑顔を見せて頂きたいです。



訃報

市川 弘さま
ホーリーハウス入所者の市川達也さまのお父さん
令和6年9月7日亡くなられました。
令和7年3月10日お父さん
鎮んでご冥福を祈り申し上げます。
藤長 輝福さま
ホーリーハウス入所者の藤長秀生さまのお父さん
令和7年3月10日亡くなられました。
鎮んでご冥福を祈り申し上げます。